

1 中国

三河火力発電所建設事業(1)(2)



本事業により建設された三河火力発電所

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	24,600百万円 / 22,999百万円
借 款 契 約 調 印	1995年1月 / 1995年11月
借 款 契 約 条 件	金利2.3% / 2.6%、返済30年(据置10年)
貸付完了	2002年2月 / 2002年12月

[事 業 概 要]

北京市の東方37.5kmの河北省三河市に石炭火力発電所を建設し、北京 天津 唐山地区(BTT地区)の電力不足緩和に資するもの。

[評 価 結 果]

本事業により、350MW × 2基の火力発電所が建設され、2000年6月(1号機)、2000年10月(2号機)にそれぞれ商業運転を開始した。発電量実績は2001年3,630GWh、2002年(10月までの実績)3,140GWhと、当初計画の8割以上の実績に達しており、稼働率も8割以上となっている。また、3年目の2002年に入り安定運転が達成され、2002年11月現在、連続500時間以上の安全運転を記録している。BTT地区に位置する全発電所の設備容量に対する三河火力発電所の設備容量の比率は4%程度であるものの、同地区への電力供給は継続して増加傾向にあり、近年の電力需要の伸びへの三河火力発電所の貢献は大きいものと考えられる。

三河火力発電所では、設備のメンテナンス及び発電状況は良好である。2001年に入り設備稼働の安定化及び売電価格の上昇に伴い売上高が増加し、あわせてコスト削減も実現されたため、財務指標も2000年から2001年にかけて改善した。